

全 員 協 議 会 記 録

開会年月日	令和6年2月19日
開会時刻	午後2時49分
閉会時刻	午後2時57分
出席議員名	三野泰嗣 川口 浩 大西要一 宮崎 誠 久保 真
	中村 功 井村貴志 上村和生 北村 勝 楠木宏彦
	鈴木豊司 野崎隆太 吉井詩子 野口佳子 岡田善行
	福井輝夫 辻 孝記 吉岡勝裕 品川幸久 藤原清史
	西山則夫 浜口和久 宿 典泰
欠席委員名	なし
署名者	—
担当書記	奥野進司
協議議題	1 令和6年能登半島地震の概要及び職員派遣の状況について
説明員	危機管理部長、危機管理課長、防災施設整備課長、総務部長
	総務部参事、職員課長、総務課長、健康福祉部長、健康福祉部次長
	健康課長、資産経営部長、営繕課長、情報戦略局長、都市整備部長
	産業観光部長、環境生活部長、上下水道部長、上下水道部次長
	下水道施設管理課長、病院経営推進部長、病院経営企画課長
	消防長、消防署長、消防課長、事務部長、学校教育部長

開会 午後 2 時 49 分

◎議長（藤原清史君）

ただいまから全員協議会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立いたしております。

御協議願います案件は、「令和 6 年能登半島地震の概要及び職員派遣の状況について」であります。

議事の進め方につきましては、議長に御一任を願いたいと思いますが御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎議長（藤原清史君）

御異議なしと認めます。そのように取り計らいさせていただきます。

【令和 6 年能登半島地震の概要及び職員派遣の状況について】

◎議長（藤原清史君）

それでは「令和 6 年能登半島地震の概要及び職員派遣の状況について」を御協議願います。

当局の説明を求めます。

危機管理部長。

●日置危機管理部長

本日は御多用の中、全員協議会を開会いただきまして誠にありがとうございます。

本日の案件は、ただいま御案内のありましたとおり「令和 6 年能登半島地震の概要及び職員派遣の状況について」でございます。

それでは説明をさせていただきます。

資料 1 - 1 を御覧ください。

まず「1 令和 6 年能登半島地震の概要」でございます。

令和 6 年 1 月 1 日 16 時 10 分ごろに発生したこの地震はマグニチュード 7.6、石川県内の震度は志賀町、輪島市が震度 7、七尾市、珠洲市、穴水町、能登町で震度 6 強となっております。

続きまして「2 地震による被害の概要」を御覧ください。

石川県が 2 月 8 日に発表している数字でございますが、人的被害は死者が輪島市で 103 人、珠洲市で 102 人、その他の市町を含め合計 241 人となっております。また、全壊、半壊、一部損壊を全て含め、住家被害は輪島市が 5,966 棟、珠洲市が 8,280 棟、その他の市町を含め合計 58,866 棟となっております。

続きまして避難所の開設状況でございます。市町が開設する 1 次避難所が輪島市で 78 か所、珠洲市が 45 か所、その他の市町を含め合計 265 か所となっております。また、避難者数は輪島市 2,352 人、珠洲市が 1,375 人、その他の市町を含め合計 7,254 人となっております。

次に、石川県が開設する避難所ですが、被害の大きかった地域の避難者を金沢以南のホ

テルや旅館へ避難させる2次避難や、2次避難所への中継地点として避難者の健康状態の確認などを実施する1.5次避難所を開設しています。この避難所の状況につきまして、1.5次避難所が3か所で避難者が240人、2次避難所が237か所で避難者数が5,135人となっています。

続きまして2ページを御覧ください。

「3 被災地支援の枠組み及び業務内容」について御説明申し上げます。

能登半島地震の被災地支援の取組として、様々な枠組みで職員派遣を行っています。

(1)では、総務省の応急対策職員派遣制度に基づき、三重県が輪島市の支援に割り当てられています。これにより災害対策本部運営支援と避難所運営業務支援のため、三重県と県内市町で三重県支援チームを編成し、職員の派遣を行っています。なお、「業務内容」と表記した内容が、今回派遣した市職員の主な業務でございます。

このほかに、厚生労働省や消防庁の要請に基づく派遣、公益社団法人日本水道協会、三重DMA T、全国被災建築物応急危険度判定協議会、下水道事業災害時中部ブロック、そして災害時相互応援協定自治体からの要請に基づく派遣を行っています。

次に、「今後の職員派遣について」でございますが、被災地への支援については、今後も継続した取り組みが必要と考えており、国・県などと調整を図りつつ、引き続き職員の派遣を継続していきたいと考えております。今後は、新たに災害廃棄物処理に関する職員派遣や技術職員の派遣も行っていきたいと考えております。

続きまして3ページを御覧ください。

三重県が支援している輪島市の概要について参考としてまとめましたので、後ほど御確認ください。

今後は職員派遣により明らかとなった課題や能登半島地震の様々な検証結果を踏まえ、市の防災対策に取り組んでまいりたいと考えております。なお、派遣期間や人数、業務に携わった職員の所感など詳細について、資料1-2にまとめておりますので、後ほど御高覧ください。

資料1-2の最後に表記いたしました2月9日時点での派遣済み職員数は、延べ72名と記載してございますが、今日現在では76名というふうなことでございますので御報告させていただきます。

以上、「令和6年能登半島地震の概要及び職員派遣の状況について」御説明申し上げます。御協議いただきますよう何とぞよろしくお願い申し上げます。

◎議長（藤原清史君）

ただいまの説明に対しまして、御発言はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎議長（藤原清史君）

御発言もないようですので、本件につきましてはこの程度で終わります。

以上で御協議願います案件は終わりました。

これをもって、全員協議会を閉会いたします。

閉会 午後2時57分